

普及活動情勢報告（令和4年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ピーマンの新たな担い手確保に向けて ～産地PR動画の撮影～



PR動画撮影の様子

1月28日、JA高知県土佐市ピーマン部会長のハウスにて、ピーマン産地の魅力を情報発信する動画撮影が行われ、農業改良普及課は、台本や動画の確認支援を行いました。

撮影では、部会長から環境制御技術を活用したピーマン栽培の魅力や担い手のサポート体制などについて紹介がありました。

農業改良普及課は、今後も完成した動画も活用しながら関係機関と連携して、ピーマンの新たな担い手確保に向けた支援を継続していきます。

ニラ栽培技術の習得を目指して

～いの町農業公社の若手研修指導者のニラ勉強会を開催～



ほ場で勉強する若手研修指導者

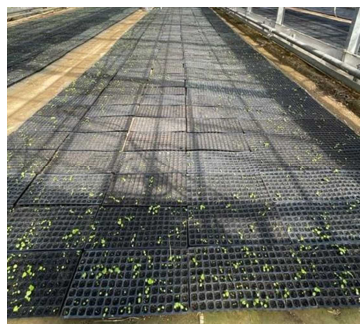
2月8日、いの町農業公社で今年から新たにニラ栽培を担う若手研修指導者に対し、勉強会を開催しました。この勉強会は、農業経験のない職員に基礎からニラ栽培を学んでもらうために毎月開催するなかで、地元の篤農家のほ場にも研修に行く予定を立てています。今回は、農業改良普及課から施肥や灌水等の栽培管理について説明した後、篤農家のほ場でニラを観察しながら、栽培のコツを学びました。

若手研修指導者は、ニラ栽培の細かい管理について篤農家と様々な意見交換を行いました。

農業改良普及課は、今後も定植前のほ場準備や病虫害防除等の栽培技術の習得に向けて、研修等を通して支援を行っていきます。

加工用ワサビ苗の発芽率向上を目指して

～いの町農業公社のワサビ苗の安定生産に向け取引企業及び関係機関が協議～



育苗の様子

1月27日、ワサビ苗の安定生産に向けて、いの町農業公社、いの町、JA高知県営農販売事業本部、同仁淀川地区本部、取引企業が、Webで情報交換を行いました。農業改良普及課は今回の情報交換を提案するとともに、発芽試験結果や低発芽率の現状を説明しました。取引企業からは育苗のアドバイスや他産地の情報を提供いただきました。公社からは低発芽率に高温が影響しているの「播種時期を遅らせる」との声が聞けるなど有意義な会となり、今後も情報交換を実施していくことが決まりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して実証ほの設置等ワサビ苗の安定生産に向けた支援を行っていきます。

成功するための就農計画を作り上げよう！

～研修生とサポートチームが面談～



研修生との面談の様子

1月26日、土佐市の研修受入農家と関係機関からなるサポートチームが研修生の面談を行い、研修の進捗状況や就農計画について聞き取りを行いました。

就農に向けたスケジュール表に沿って、定植時期や労力の確保方法、栽培方法等について確認し、サポートチームから一つ一つ助言を行いました。研修生は、就農に向けて病害対策や土壌分析など自らが今後検討すべき課題を整理することができました。

農業改良普及課では、今後も研修生が就農ビジョンをしっかりと描き、スムーズに就農できるよう、サポートチームの一員として支援していきます。